

DSD/JICA Project on Disability



Department of Social Development (DSD) / Japan International Cooperation Agency (JICA)
Project for the Promotion of Empowerment of Persons with Disabilities and Disability Mainstreaming

東ケープ州で DEM ワークショップを実施しました！

プロジェクトは、2019年6月19・20日に東ケープ州ムタタで障害者のエンパワメントと主流化（DEM）ワークショップを実施しました。ワークショップには、社会開発省行政官、プロジェクトサイトのニャンデニ市職員や市議会議員、関連省庁の行政官、障害者などプロジェクト作業部会のメンバーを中心とした約35名が参加しました。

ワークショップは、社会開発省のマニティピ課長およびクリシュ副課長が中心となり、①作業部会メンバーの、社会モデル、合理的配慮など障害に関する理解を促進すること、②プロジェクトサイトでの活動計画を作成することを目的に開催されました。



（写真）社会モデルを説明するクリシュ副課長（中央奥）

ワークショップは1日半のプログラムで、初日はグループディスカッションやビデオ分析などを通じた社会モデルや合理的配慮などの理解促進およびプロジェクトサイトで実施したベースライン調査の結果共有を行いました。全ての参加者が発言できるように、参加者たちは4つの小グループに分かれ、議論が交わされました。ワークショップ当初は、あまり発言しない障害者もいましたが、ワークショップ後半にはすべてのグループで活発な議論が行われました。



（写真）活動計画を作成する参加者たち

ワークショップの2日目は、活動計画の作成です。ワークショップ1日目に発表されたベースライン調査結果を基に、4グループそれぞれがプロジェクトサイトの課題を1つ選定し、その

課題解決のための活動計画を作成しました。作成された活動計画は、①DSD オフィスのアクセス改善、②保健省と連携した障害者対象医療サービス情報の普及、③コミュニティでの障害に関する意識啓発、④公共交通機関のアクセス改善の4つです。

今後、DSD 東ケープ州および OR タンボ郡が中心となり、作成された4つの活動計画を1つに統合し、活動を開始していきます。

クワズル・ナタル州でキックオフ会議を開催しました！

2019年6月26・27日にクワズル・ナタル州マンデニ市でキックオフ会議が開催され、社会開発省州および郡の障害担当調整官、障害者フォーラムの代表、マンデニ市職員、昨年の本邦研修に参加した障害者などが参加しました。社会開発省クリシュ副課長が、プロジェクトの概要や今後の活動計画について説明を行い、マンデニ市をプロジェクト活動サイトとして確定し、作業部会メンバーの選定、ベースライン質問紙調査を行いました。プロジェクトは今後、作業部会メンバーを対象としたDEMワークショップを行い、マンデニ市での活動計画を作成する予定です。



(写真) キックオフ会議の様子

子ども担当部署での障害主流化が促進しています！

2019年6月28日、ムプマランガ州ネルスプリットで行われた社会開発省子ども担当調整官会議に出席し、プロジェクトで実施している障害主流化研修の一部デモンストレーションを行いました。同会議への出席は、社会開発省子ども課からの要請を受け実現したもので、参加者からは障害主流化に関する高い関心が示されました。その結果、社会開発省子ども課より、同課行政官を対象とした障害主流化研修実施の要望があり、8月に研修を実施することとなりました！



(写真) 障害主流化研修デモンストレーションの様子

最新のプロジェクト進捗状況は、プロジェクト Facebook ページをご覧ください！

JICA SADEM :

<https://www.facebook.com/jicasouthafricadisabilityempowermentmainstreaming/>

編集:

原田 真帆 MahoH@dsd.gov.za

上岡 廉 RenK@dsd.gov.za